

【 粗い試算（令和3年2月）で見込んだ令和4年度収支不足額 】

(A) **▲740億円**

【 粗い試算からの変動（一般財源ベース） 】

(B) **+160億円** (ア) - (イ)

《 歳入 (ア) 》	+360億円	
府税・譲与税		+920億円
交付税等		▲560億円
《 歳出 (イ) 》	+200億円	
人件費		+75億円
公債費		▲55億円
一般施策経費等		+180億円

【 令和4年度収支不足額の見込み 】

(A) + (B) + 今後の変動 ≙ **▲580億円 ± α**
(今後の変動による)

⇒ 予算編成過程で再精査の上、財源対策を検討

※ 財政調整基金残高(R3未見込)：約**1,080億円 ± α**

《 参考 》 粗い試算からの変動を織り込んだ当面の財政見通し

	R5	R6	R7
粗い試算（令和3年2月）で見込んだ収支不足額	▲ 830	▲ 820	▲ 500
粗い試算からの変動（一般財源ベース）	+ 350	+ 320	+ 230
収支不足額の見込み	▲ 480	▲ 500	▲ 270

★ 今後の主な変動要素

- ・新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえた対策の検討
- ・府税収入の動向、令和4年度地方財政計画及び税制改正など国の措置 など